

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地		
専門学校広島工学院大学校		平成7年6月28日		半明英幸		〒731-3166 広島県広島市安佐南区大塚東三丁目2番1号 (電話) 082-848-7780		
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地		
学校法人古沢学園		昭和62年3月17日		古澤敏昭		〒730-0811 広島県広島市中区中島町9-11 (電話) 082-247-3700		
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	自動車整備科 2級自動車整備士コース		平成6年 文部省告示第84号	—			
学科の目的	革新する自動車の高性能化、複雑な電子制御技術に対応できる高度な整備技術の習得を目標とし、即戦力となる人材を育成することを目的とする。							
認定年月日	平成27年2月17日							
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技	
2年	昼間	2299.8時間	766.8時間	—	1353.6時間	—	—	
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
190人	72人	0人	9人	0人	9人			
学期制度	■1学期: 4月1日～9月30日 ■2学期: 10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 優80点以上・良: 70～79点・可: 60～69点・不可: 59点以下			
長期休み	■学年始: 4月1日 ■夏季: 7月25日～8月21日 ■冬季: 12月21日～1月9日 ■学年末: 3月31日			卒業・進級条件	・出席率90%以上 ・評定に「不可」がないこと ・研修(課外活動)を修了していること			
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席・遅刻者については、電話フォロー・個人面談・保護者面談・校長面談実施後、補習を行い再発を防ぐ。生活指導については、健康管理・挨拶・マナー・生活改善等をクラス担任より日常的に指導している。			課外活動	■課外活動の種類 ・江田島研修(国立江田島青少年交流の家) ・三瓶研修(国立三瓶青少年交流の家) ■サークル活動: 有 ・4輪同好会・2輪同好会			
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(平成28年度卒業生) 自動車販売会社 ■就職指導内容 ・希望調査(入学時) ・個人面談(進路指導担当者および担任) ・会社訪問指導(担任) ・会社訪問(希望企業) ・三者面談 ・就職セミナー開催(11月) ■卒業生数 49 人 ■就職希望者数 30 人 ■就職者数 30 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 61.2 % ■その他 ・進学者数: 19人 (本校の1級自動車整備士コース及び自動車車体整備科へ進学) (平成 28 年度卒業者に関する平成29年5月1日 時点の情報)			主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成28年度卒業者に関する平成29年5月1日時点の情報)			
					資格・検定名	種別	受験者数	合格者数
					二級ガソリン自動車	②	49	49
					二級ガソリン自動車	②	49	49
					中古自動車査定士(小型)	③	49	49
					危険物取扱者乙種4類	③	45	14
					ソーシャル検定 中級	③	49	47
					損害保険募集人自動車保険単位	③	49	49
					低圧電気取扱業務特別教育	③	48	48
					タイヤ空気充填士特別教育	③	49	49
					ガス溶接技能講習	③	45	45
					アーク溶接特別教育	③	46	46
					自由研削砥石取替え等業務	③	49	49
					※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等			
中途退学の現状	■中途退学者 6名 ■中退率 6.52 % 平成28年4月1日時点において、在学者 92名(平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者 86名(平成29年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更(就職)・学習意欲の喪失 ■中退防止・中退者支援のための取組 ・中退防止 素行・態度等の変化を早めに察知し、声掛け・面談・家庭連絡を密に実施している。また、クラスの状況や学生の状況は職員会議にて共有しており担任・学科長および分掌等が連携し組織的に対応している。 ・中退者支援 経済的問題で退学または進学を断念せざるを得ない場合の就職斡旋。							
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有・無 ・指定校推薦入試制度(入学金のうち5万円免除) ・入学金免除制度(親族兄弟姉妹: 5万円免除)(学園内進学者: 全額免除)(電気工事士有資格者: 全額免除) ・住居費補助制度(入学初年度: 5万円補助) ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象 ・前年度の給付実績者数 0人							
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有・無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)							
当該学科のホームページURL	http://www.furusawa.com/							

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
教育課程の編成にあたっては、実践的かつ専門的な職業教育を実施するため、教育課程編成委員会での審議を通じて示された企業等の要望・意見を十分に活かし、教育内容の工夫・改善を行う。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け
・職業実践専門課程委員会規定により、実践的かつ専門的な職業教育を実施するための教育課程編成委員会を設置し、関連企業等からの意見・要望・情報を活用し、教育課程の編成及び工夫・改善を行う。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成29年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
相原 寿直	一般社団法人 広島県自動車整備振興会	平成29年4月1日～平成31年3	①
屋地元 勝己	トヨタカローラ広島 株式会社	平成29年4月1日～平成31年3	③
佐藤 岳史	広島トヨタ自動車 株式会社	平成29年4月1日～平成30年3	③
矢野 博之	広島トヨペット 株式会社	平成29年4月1日～平成30年3	③
森川 二郎	株式会社 広島マツダ	平成29年4月1日～平成30年3	③
福江 達之	広島三菱自動車販売 株式会社	平成29年4月1日～平成30年3	③
尾下 一浩	広島スバル 株式会社	平成29年4月1日～平成30年3	③
堀本 隆志	株式会社 スズキ自販広島	平成29年4月1日～平成30年3	③
山本 啓二	広島日野自動車 株式会社	平成29年4月1日～平成30年3	③
新祖 幸三	いすゞ自動車中国四国株式会社	平成29年4月1日～平成30年3	③
岡本 直久	二村自動車 株式会社	平成29年4月1日～平成30年3	③
小山 孝裕	株式会社 サコダ車輛	平成29年4月1日～平成30年3	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
(開催日時)

第1回 平成29年9月15日 14:30～16:00 開催予定

第2回 平成30年1月中旬 開催予定

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

・車の向こう側にはお客様がいることを意識させるような指導をして欲しい。
・実習のグループ編成(人数)は、消極的な学生が自発的に参加できるような環境づくりを配慮して欲しい。
専門的なスキルアップは当然であるが、授業の実施方法・意識・態についての意見も頂いている。意見・要望を活用し、より実践的な

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

- ・校内で実施している授業に追加し、職業能力(態度、思考、行動、責任等)及び最新の専門知識・技能を修得させる。
- ・業界の動向、人材需要も含む最新の実践的な知識・技能を修得させるため企業からの派遣講師による授業(講義・実習)を受講し、その評価を受け、より実践的な人材を育成する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

教育課程編成委員会規定に基づき、職場での仕事及び作業の理解、最新技術の習得が将来の仕事に繋がる学びとなる事を目指して企業等との連携を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な3科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
体験実習	インターンシップ	内定先企業
整備作業	低圧電気取扱業務 特別教育	トヨタカローラ広島(株)
整備作業	技術講習会	広島日野自動車 株式会社
整備作業	新技術講習会	広島スバル 株式会社
整備作業	技術講習会 (ISZ特有装置、エアブレーキ、スキャンツール)	いすゞ自動車中国四国株式会社
整備作業	マツダ新技術セミナー(SKYACTIV-G技術、定期点検整備)	株式会社 広島マツダ
ビジネスマナー	フレッシュマンセミナー「仕事の基本」(グループワーク、5s)	株式会社 スズキ自販広島

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

- ・最新技術(技法・作業要領)、法改正等の習得および学生の指導力をレベルアップさせるため、業界団体・企業等が主催する研修や各セミナー等も積極的に参加し、新技術の習得・経済及び産業界の動向を含め情報収集に努める。
- また、企業等との組織的連携を更に深め、自己啓発により習得したものを授業および学生にフィードバックする。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

- 「いすゞ自動車中国四国(株)主催」企業研究セミナー(平成29年7月7日)
- 「広島県自動車整備振興会主催」整備主任者法令研修(平成29年8月10日)
- 「JAMCA主催」1級対策研修会(平成29年8月1日～平成29年8月2日)
- 「JAMCA主催」新技術、車両診断研修会(平成29年8月7日～平成29年8月10日)
- 「いすゞ自動車主催」技術研修会(平成29年8月21日～平成29年8月22日)

②指導力の修得・向上のための研修等

- 「JAMCA主催」教職員夏季研修会(平成29年7月24日～平成29年7月27日)
- 「広島県専修学校各種学校連盟主催」就職情報研修会平成29年3月23日

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

- 「広島県自動車整備振興会主催」整備主任者技術研修・整備主任者法令研修・ハイブリッド車の車検整備に関する講習・CS研修会(フロント対応の基礎)
- ・スキャンツール活用研修会・オートエアコン研修会

「JAMCA主催」
 新技術、車両診断研修会
 ②指導力の修得・向上のための研修等
 「JAMCA主催」
 教職員夏季研修会(教員歴3～5年を対象、教職スキルアップおよびグループディスカッション、発表)

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること

(1) 学校関係者評価の基本方針

・自動車整備科に関係する企業等および保護者・卒業生等の参画による学校関係者評価委員会を設置する。自己点検・評価結果に基づいて教育目標・教育環境など学校運営についての評価や意見を委員より頂き、学校運営の全般について改善及び発展に反映させる。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	職業教育の特色は何か、社会のニーズを踏まえた将来構想を抱いているか等
(2) 学校運営	目的に沿った運営方針や事業計画が策定されているか等
(3) 教育活動	教育課程の構成・方針等が策定されているか、教育方法の工夫・開発が実施されているか、教職員の指導力や資質向上に努めているか等
(4) 学修成果	資格取得・就職率の向上が図られているか等
(5) 学生支援	進路・就職、健康管理、生活相談に関する体制は整備されているか。保護者及び同施設・設備は教育に適切か等
(6) 教育環境	延路・就職、健康管理、生活相談に関する体制は整備されているか等
(7) 学生の受入れ募集	募集活動は適正に行われているか
(8) 財務	中長期的に学校の財務基盤は安定しているか
(9) 法令等の遵守	法令及び設置基準が遵守され、適正な運営がなされているか等
(10) 社会貢献・地域貢献	
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

I 教育目標

・教育目標及び計画のPDCAサイクルは4点以上の高い目標とする

II 教育活動

・学生の悩み相談を広く受け取る体制を整備する

・コミュニケーション能力・対人関係(人との関わり)・躰教育など検討課題として更に改善する

III 福利厚生

・充実している。との評価を頂いているが、生活環境には更に配慮し学生満足度および評価が向上するよう努める

IV 管理・運営・財務

保護者アンケート、学生アンケートによる意見を基にして改善工夫に反映させる

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
山西 和夫	一般社団法人 広島県自動車整備振興会	平成29年4月1日～平成31年3月	企業等委員
平尾 健吾	トヨタカローラ広島 株式会社	平成29年4月1日～平成31年3月	企業等委員
竹中 光	伍永通信 株式会社	平成29年4月1日～平成30年3月	企業等委員
大林 泉	広島工学院大学 在校生保護者	平成29年4月1日～平成31年3月	PTA
岡田 康嗣	岡田自動車 株式会社	平成29年4月1日～平成30年3月	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <http://www.furusawa.com/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況」

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に基づいた項目により、教育活動の取組及び学校運営の状況等をホームページにて情報公開し、企業等および学校関係者など幅広く理解して頂く。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	HPのサイドマップ「学科紹介」
(2) 各学科等の教育	HPのサイドマップ「学科紹介」
(3) 教職員	HPのサイドマップ「学科紹介」「Q&A」
(4) キャリア教育・実践的職業教育	HPのサイドマップ「学科紹介」
(5) 様々な教育活動・教育環境	HPのサイドマップ「トピックス」
(6) 学生の生活支援	HPのサイドマップ「キャンパスライフ」
(7) 学生納付金・修学支援	HPのサイドマップ「入学案内」
(8) 学校の財務	HPの「財務情報の公開」
(9) 学校評価	HPの「自己点検評価報告書」「学校関係者評価結果報告書」
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL: <http://www.furusawa.com/>

授業科目等の概要

(工業専門課程 自動車整備科 1級自動車整備士コース) 平成29年度														
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			自動車工学	力学・数学、材料、燃料・潤滑剤、図面、自動車概論、ガソリンエンジン、ディーゼルエンジン、シャシ、電装	1 通 2 前	4 2 8 ・ 4	○			○		○		
○			自動車整備	ガソリンエンジン、ディーゼルエンジン、シャシ、電装、故障原因探求	2 通	2 5 3 ・ 8	○			○		○		○
○			機器の構造・取扱	測定機器、整備機器、検査機器	1 通	3 2 ・ 4	○			○		○		
○			自動車検査	検査の概要、検査の目的、検査の種類	2 後	2 7 ・ 0	○			○		○		
○			自動車に関する法規	道路運送車両法、保安基準	2 前	2 5 ・ 2	○			○		○		
○			工作作業	機械工作作業、手仕上げ工作、ガス溶接作業、アーク溶接作業、研削作業	1 通 2 前	2 5 ・ 2				○	○	○		
○			測定作業	測定機器の取扱、保守管理、測定作業	1 前	4 6 ・ 8				○	○	○		
○			整備作業	ガソリンエンジン、ディーゼルエンジン、シャシ、電装	1 通 2 通	1 2 3 1 ・ 2				○	○	○		○
○			検査作業	検査機器の取扱、保守管理、測定作業	2 後	5 0 ・ 4				○	○	○		
○			コンピュータ	コンピュータ実習	1 通 2 通	6 3 ・ 0				○	○	○		
○			ビジネスマナー	一般教養	1 通	3 6 ・ 0	○			○		○		○
○			江田島・三瓶合同研修	合宿研修	1 通 2 通	8 0 ・ 4	○	○		○		○		
合計					12 科目	2299.8 単位時間(単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	19週